

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月

所属&学年 | 情報学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

小学生のころから IT に興味があり、その IT の先進国である韓国にも興味があった。その中、冬のソナタといった韓ドラはじめ、親と一緒に韓国ドラマを数本見ていた時期、空前の K-POP ブームが到来し、韓国への興味がさらに沸いた。そして高校生の頃、e-sports の動画を見るようになり、強豪国である韓国代表の選手のプレーに魅了され、また TWICE に興味を持ち、より一層韓国へ行きたい気持ちが強くなった。どうせ行くのなら観光ではなく、語学や文化的側面の学習もかねて渡航したいという気持ちから、今回のプログラムへの参加を希望した。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

名古屋大学内では、基本的な韓国語の学習をはじめ、自分が調べた韓国に関するトピックのプレゼン、また韓国の文化的情勢などを学んだ。私は韓国における e-sports の実情についてプレゼンをした。その中で韓国への知見を広げ、基盤となるものを身に付けてから韓国に渡航した。

韓国に渡航してからは、現地の先生や学生さんと一緒に生の韓国語の学習であったり、多くのプログラムを通して様々な文化体験をした。例を挙げるならば、テンプルステイで韓国における仏教の作法、伝統的な凧作り、K-POP ダンスレッスン、韓服の着用、韓国料理を作る、といったことを体験した。日本に似ているところ、日本とは全く違うところが数多くあり、そこを意識するとさらに意義のある研修になった。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

学外の授業ではトウミの方々、そしてみんなと一緒に行動することが多かった。親切にトウミの方々が自分たちのしたいこと、行きたいところなどを聞いてくれて、それをかなえてくださった。トウミの方々には感謝してもきれない。

自分たちが積極的に行動しようとするためトウミの方々も選択肢をたくさん提案して下さり楽しい思い出を増やすことができた。短い期間ではあったがとても仲良くなり、日本に帰った今でも頻りに連絡を取り合う仲になっている。

今回の研修で重要だと思ったことは、積極的に動くことである。異国の地であるため委縮してしまうかもしれないが、せっかくのチャンスを無駄にしないためにも、積極的に行動することで貴重な体験ができると思う。実際に私は、PC 室に行ってみたくはずっと思っていて、トウミの方に話したところ連れて行ってくださり、貴重な体験ができた。長いようで短い研

修期間の中でどれだけのことを学べるのかと考えると、積極的に行動することで得られるものがたくさんあるだろう。

また人と人とのつながりも大事である。言葉は通じなくてもその姿勢で理解しあえるところがあるため、黙り込むよりも何かしらのアクションを起こすこともいいことだと思った。

生活の面では、主に体調管理の面で思うのが、たまに空気の質が最悪な状況になるため、マスクは必須である。またそのような状況に敏感な人(鼻炎持ち、花粉症など)は薬を携行するなど対策が必要だと感じた。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

渡航期間中に 3.1 独立運動 100 周年記念の会がソウルで行われたが、木浦ではそのような動きもなく安全だった。盗難の面では日本でやるような防犯の意識で十分だと考える。むしろ木浦のほうが大丈夫な気もした。

交通の面では十分に注意する必要があると思う。韓国では赤信号でも右折が可能であるため、交差点で突っ込んでくることも考えられる。また信号も少なく感じ、車のスピードもかなり飛ばしているため注意が必要だと思う。

#### 5. 海外研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	113,750 円		振込
滞在費 (授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費)	136,190 円	= 11,745,000 ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	6,000 円	= 60,000 ウォン	現金 万円、 カード 0 万円
各自での交通費	450 円	= 4,500 ウォン	
その他 (小遣い)	20,000 円	= 200,000 ウォン	現金 万円、 カード 0 万円
計	276,390 円		

※現地通貨はいくら持参しましたか? 29,915 円 = 272,000 ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

たった数日間の日程でしたが学生はじめトウミの方々、先生方と非常に仲良くなれます！韓国に興味あるないにかかわらず参加するとなにか新しいことを発見できると思います。参加しようかなと悩んでいる人にはぜひ参加してほしいです！

(写真はほかの人がたくさん送っていると思うので省略します)

# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2019年 3月

所属&学年 | 工学部 3年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

大学院に進学してから長期の留学を検討していた。そのため、学部生の間に短期でもいいから一度留学したいと思い志望した。大半の3年生は就活をしていたが、進学を考えていたため就活はしていない。1,2年生のうちに行くことができたなら行っていたが、多忙であったため3年生まで先送りになってしまった。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

言語：第2外国語は中国語を選択したため、履修開始時に韓国語はまったくわからなかった。渡航前授業の中で、韓国語の授業が3回あった。渡航前までに、ハングルの読み方、自己紹介、数字の数え方、簡単なフレーズが使える状態になった。渡航中はあいさつなどで韓国語を積極的に使用して使えるフレーズを増やしていった。現地で実際に使ったほうが覚える速度がはやい。  
メール：担当教員より、メールの正しい書き方について学んだ。正しい敬語の使い方や、慣用表現など。メールの書き方について教わったことは初めてで、良い勉強になった。ほかの教員に連絡を取る時も意識するようになった。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

日本と韓国は政治的に対立しているが、現地に行ってみるとそのことを気にしている韓国人は少ない。少なくとも研修中そのような人には出会わなかった。韓流ドラマや日本のアニメなど、文化的な交流は盛んにおこなわれているが、そのことと政治的な問題は別として考える必要があることがわかった。  
食事は辛いものが多かった。最初の数日は辛さとその量にも慣れずになかなか食べきれなかった。朝ご飯を抜くなど、お腹の調整をおこないながら数日過ごした。5日目あたりから慣れ始めて、そこからよく食べられるようになった。自分の限界をよく知って食べるのが大切だと思った。  
木浦の気候は日本と大して変わらなかった。手袋とマフラーを持って行ったが、ほとんど使わなかった。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

集団行動が大切だと改めて思った。現地言葉がわからない環境の中、一人で行動することはとても危険だとわかった。Wi-Fiを僕ともう一人レンタルして渡航したが、常に一緒にいるわけではなかったため、別行動する際は必ず現地学生に付き添ってもらった。  
3/1は韓国の独立記念日だったため、目立った行動はしなかった。ただ、独立記念日だからと言って日本人に対して攻撃的な人はいなかった。

中国から流れてくる大気汚染の影響がすごかった。大気汚染は避けようがないため、マスクを常に着けることと、帰宅時にうがいをするのが大切である。また、夜は乾燥していたためマスクを着けて寝た。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	84,850 円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・ 交通費・通信費）	136,190 円		国立木浦大学校へ支払
各自での食費	5,000 円	= 50,000 ウォン	現金
各自での交通費	700 円	= 7000 ウォン	現金
その他（小遣い）	15,000 円	= 150,000 ウォン	現金
計	約 240,000 円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 50,000 円 = 507,600 ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

↓↓↓

現地の方がすごく優しく、特に日本語のできる現地学生の助けのおかげで韓国語がほとんどわからなくても生きて帰ってくることができた。第二外国語が韓国語選択でなくてもなんとかなるが、選択しているほうが勉強になるだろうし、楽しかったと思う。

また、韓国の歴史や文化について深く知ってから渡航すると、より楽しかったらうなと思う。

現地の授業や施設訪問などで、日韓の戦時中の歴史や現在の文化事情などがよく取り上げられた。



# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月 17日

所属&学年 | 経済学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

K-POP や韓国ドラマが好きでしたが、そこから韓国料理や歴史など韓国の文化に興味を持ち始めました。韓国は日本と近いので観光することはできますが、観光では現地の人と話す機会はほとんどなく、現地の方とお話したい、韓国の生活を体験してみたいと思ってこの講義をとりました。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

第2 外国語で朝鮮韓国語を履修していましたが、この講義では日常的に使うフレーズを主に教えてくれて実際に韓国で使うことも多かったです。韓国の歴史も少し習いましたが、個人的に興味があったので面白かったし、歴史を知ることによって韓国ドラマがさらに楽しめるようになると思いました。漂流における日韓関係のお話も初めて聞くことばかりで、日韓のつながりはさまざまなお話であったのだと思いました。教授の韓国に留学したときのお話は実体験の韓国の文化を知ることができてよかったです。自分での調べ学習では、留学の日程と重なっていた3・1節について調べ、日本が韓国にしてきたことも学ぶことができました。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

韓国での韓国語の授業は、文章を作ったり、発音を見てもらったり、日本ではあまりできないことができたと思います。また、言語は机で勉強しているよりも、現地に行くことで自然に目に入る言葉や耳に入る言葉から覚えることができると感じました。木浦近代歴史館では、日本が韓国にしてきた虐殺や慰安婦などの写真がありました。日本人がつくらせた防空壕もありました。胸がいたくなるものばかりでしたが、日本人が見るべきで知るべきものだと思います。日韓関係がよくないとニュースで言われますが、実際に行くと日本人だからといっていやな顔されることはなく、むしろ知っている日本語ではなしかけてくれ、親切にしてくれました。3月1日も独立を祝う記念日で日本のことを悪く思う日ではないときいて、ニュースでみるのと全然違いました。

生活面では、オンドルの文化がテンプルステイのときも泊まった宿舎にもあって快適でした。昔の家にもオンドルがあって、寒い韓国ならではの発展した文化だと思いました。また、タクシーやバスのスピードや料金の違いなども面白かったです。ご飯屋さんに行くと、かならずキムチがでてきてキムチを食べない日はないほどでした。おかずも本当に豪華でおかわりも何回もできるという制度は日本ではあまり見られないと思います。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

韓国はそれほど治安が悪いわけではなかったですが、海外なので荷物を置きっぱなしにしたり、スマホとかご飯を食べる机に置かず使ったらすぐ鞆の中にしまったりしていました。また、財布は2つにして、お金も分けて持っていました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	11万円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	13万円？	= ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	5,000円	= 50,000ウォン	すべて現金
各自での交通費	1,000円	= 10,000ウォン	すべて現金
その他（小遣い）	16,500円	= 165,000ウォン	すべて現金
計	262,500円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 3万円 = 30万ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

韓国の学生さんと一緒に学び、ご飯を食べ、遊びに行き、たくさん話したことが本当に楽しかったです。歳も国籍も違うけど、本当にいい人たちと出会えたことが幸せです。日本に帰った今も連絡を取り、また会う約束もしています。また、実際に生活してみると、日本と韓国の違いがみえてきて面白い発見がたくさんあります。日本の当たり前がそうでないことがわかって、考え方も変わってくると思います。たくさんの韓国の文化に触れることができ、日本の外側から日本の歴史をみて考えることができ、帰りたくなるほど大好きな人たちにも会えるので、ぜひ多くの人にいてほしいです。



# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月

所属&学年 | 文学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

元々留学したいと思っていたから。また、韓国のドラマや歌手が好きで、韓国の文化に興味があったから。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

学内の韓国語の授業では、韓国人のTAさんから細かい発音や、特に重要な表現について学んだ。また、韓国では漢字の読み方が一通りのため、同じ漢字を使っているものは同じ読み方ということを教えていただいて、韓国語が覚えやすくなった。他にも、自分の事前調査や他の人の調査発表を聞いて、前より韓国の文化を知ることができた。危機管理の授業では、実際の盗難の映像などを見て危機意識が高まったし、海外へ行くのが初めての私にとってはとても為になる授業だった。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

現地での韓国語の授業では、発音を中心に学ぶことができて、今までわからなかった発音の違いがわかるようになった。また、挨拶、自己紹介、約束の表現について学び、トウミさんの力を借りながら文を作る練習もたくさんできた。そのほかの活動でも、トウミさんや引率のイ先生が様々な韓国の文化について教えてくださった。韓国は地理的に近い国ではあるが、食事面や交通面、マナーの面、考え方の面など、本当にたくさんの違いがあることを身をもって学ぶことができた。私は初めて国籍の面でマイノリティーの立場になって、言語がわからないことがどれだけ不安なのかがわかったし、今まで当たり前だと思っていたことが、世界に目を向けるとそうでもないということに気付くことができた。また、普段は深く考えない、日本語や日本の文化についても考えさせられる研修だった。視野が広がり、考え方が変わったと感じた。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

貴重品は常に身に着けるようにした。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	21,440 円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・ 交通費・通信費）	194,190 円	= 1,941,900 ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	5,000 円	= 50,000 ウォン	現金 万円、 カード 万円
各自での交通費	1,000 円	= 10,000 ウォン	
その他（小遣い）	20,000 円	= 200,000 ウォン	現金 万円、 カード 万円
計	241,630 円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 30,000 円 = 300,000 ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

韓国の学生さんはとても優しく面白い方ばかりでした！最終的にとても仲良くなることができ、素敵な関係を築くことができました。貴重な体験をたくさんすることができたのでおすすめします。



# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月  
所属&学年 | 経済学部 2年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

幼い頃から韓国ドラマや K-POP が好きで、エンターテインメントに限らず韓国をより深く知るために留学したいと思っていたところ、期間的にも費用的にも比較的行きやすいこのプログラムを見つけました。同時に長期留学も視野にありましたが、簡単には決心できないので約2週間の研修での経験も判断材料にしようという考えもありました。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

渡航前は韓国の歴史や文化について、授業や各自のプレゼンテーションを通して学びました。これによって自分の興味がある範囲に限らず、幅広く韓国について新たに学ぶことが出来ました。また、プレゼンテーションの準備をきっかけに、以前から自分が興味を持っていたテーマについてじっくりと調べることができてよかったです。他にも、名古屋大学に在学中の韓国の方に韓国語の TA をしていただけたので、韓国語についても力のある程度つけてから渡航できるシステムが整っていたと思います。

韓国語は第2外国語として大学1年次から講義履修していましたが、この科目の履修が決まってから、自分の語学力を渡航までにできるだけ伸ばしておきたいと思ったため、講義に先行した学習を独学で進めました。内容は語彙力を増やしたり、韓国ドラマで聞き取りを意識したり、文法の定着等が中心です。韓国語勉強の目標としては研修後の TOPIK 試験受験を定めました。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

研修中は毎日充実したスケジュールが組まれていたので、存分に韓国文化を体験することができました。特に、個人の旅行では簡単に行けないようなテンプルステイやチムジルバンへ連れて行ってもらったのがうれしかったです。韓国ドラマや韓国ウェブ漫画が大好きな私にとっては、みるものすべてが心躍る世界でした。

個人的に研修の中で一番印象的だったのは木浦市の歴史的施設の視察です。それまで韓国の歴史について、日本が主人公の歴史のなかの登場人物の「朝鮮半島」としてでしか知りませんでした。そこでは韓国が主人公の歴史を知ることが少々出来たと思います。幼い頃から韓国の文化に慣れ親しんでいて、韓国をよく知っているつもりでも、日韓でのすれ違いを目にするたびに、結局自分は「韓国の文化しか知らない」のではないかと考えていました。が、そんな自分にとって韓国の立場で歴史を考えるとといった意味でとても良い経験になったと思

います。

研修中はいつも積極的に韓国語を話そうと心がけていたため、受け入れ先の大学の方々だけでなく、訪れた先で出会った方々とも会話をしました。たとえお世辞であっても現地の方に「韓国語上手だね～」と言われたときはとてもうれしかったし、言葉が通じる喜びを強く感じました。その心がけのおかげか、会話をきっかけに日本好きな韓国の方と偶然知り合い、ほぼ自分の力で連絡先を交換して帰国後も連絡を取り合う友人ができたのがとてもうれしかったです。しかし、研修が進むにつれて、自分の韓国語が通じる喜びよりも、まだまだ未熟な韓国語能力への不満足を感じるようになり、このくやしさが帰国後の語学勉強のエネルギーになりました。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

元々心配性なものもありますが、持ち物の確認は何度も行いました。また、自分の限界は自分が一番分かっているので、食べる量や運動量は絶対に無理しないようにしました。

#### 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	84,640 円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	136,190 円		国立木浦大学校へ支払
各自での食費	約 4,000 円	= 約 39,600 ウォン	現金
各自での交通費	約 700 円	= 約 6,900 ウォン	現金
その他（小遣い）	約 22,000 円	= 約 215,340 ウォン	現金
Wi-Fiルーターレンタル費	10,752 円		
計	約 26 万円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 50,295 円 = 500,000 ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

たった12日間の研修では語学力向上は望めない…ことはないと思います！実際私はこの研修の目的で文化体験と同じくらい語学力向上を重視していました。だからこそ、渡航前に文法、単語の勉強をしたり、1人である時にぶつぶつ韓国語を声に出して会話のイメージトレーニングをしたり、語学力向上のために日本でできることをやりきってから韓国での研修を迎えようと努めました。韓国ドラマ等でストーリーありきの韓国語を聞いて理解するのと、（私が日本人であることを考慮して話される易しめの韓国語であっても）現地で実際に使われている韓国語をリアルタイムで聞いて、それを理解して言葉を返すのでは全然違うと思います。韓国語のネイ

ティブスピーカーで溢れる韓国で、ソウルほどの観光地ではない、木浦だからこそ得られる語学経験を存分に吸収したつもりです。結果的には自分の韓国語の実力の程度を実感することで、これからの学習を進めていく上での目途を立てることができました。こういった形で、組まれたプログラムに対して一生懸命取り組むだけでなく、自分の目的達成のために主体的に準備をしながら研修に参加すると、より充実した渡航経験ができるのではないかと、と思います。語学力向上について偉そうに言えるほど韓国語を習得している訳ではないですが、サポートして下さる現地の方々にも恵まれ、12日間本当に楽しくて仕方ありませんでした。韓国への興味の有無に限らず、海外に出て新しい世界を自分の目で見るとの意味でも、参加を考えている方々に強くおすすめしたいです。



書店に連れて行ってもらい、自分の好きな韓国のウェブ漫画を書籍で買いました。もちろん全部韓国語なので勉強がてら読み進めたいと思います。

元々のスケジュールにはありませんでしたが、名大の学生からの希望でチムジルバン（韓国の岩盤浴）に連れて行ってもらいました。韓国ドラマ定番の羊頭とシッケ、アイスコーヒー、ゆで卵と共に楽しい文化体験ができました。



渡航前は田舎と聞いていた木浦でしたが、かわいいカフェも多く、今回の名大の学生からは田舎認定されませんでした。(笑)

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月

所属&学年 | 法 学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

小学生の頃に母親の影響で韓国ドラマを見始めたことから、自分も韓国ドラマが好きになり、よく見るようになりました。そうして韓国ドラマを見ていくなかで、知っていく韓国語や韓国人の暮らしに興味を持つようになりました。このことから大学では第二外国語の選択を韓国語にして、韓国語の勉強も始めました。また昨年の夏には友人と韓国旅行に行き、さらに韓国という国への関心が高まりました。このような過程を経て、私は韓国をもっと知りたいと思うようになり、今回のアジア現代事情を履修しました。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

名古屋大学

- ・朝鮮半島の歴史
- ・留学する上での注意点
- ・ハングルの読み方、発音方法、韓国語の基本的な単語、数字、簡単な挨拶

木浦大学

- ・韓国語の発音、自己紹介・約束事などの会話、手紙の書き方
- ・博物館訪問
- ・韓国文化体験（料理、韓服、陶芸、韓紙、太鼓、KPOP ダンスなど）
- ・韓国の方の対日感情

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

文化研修ということで、韓国の文化を知ること大きな目的としてありましたが、私は韓国人の方々の対日感情にも関心を持っていました。今回の研修の日程では3月1日の韓国独立記念日があり、しかも100周年の年でした。そのため、両親から少し韓国へ研修に行くことに少し心配をされました。研修前の授業では、私たちが日本人だからといってあちらの態度が変わるといったことはほぼないと言われましたが、実際にはどうなのだろうかと私も多少の不安がありました。しかし韓国へ行き、12日間の間、木浦大学の学生の方々や先生、お店の人々と接していくなかで、その不安は本当に取り越し苦労だということがわかりました。学生さんたちは私たちをとても気にかけてくれて、丁寧に通訳してくださったり、面白い話で盛り上げてくださったりしましたし、引率の先生は日本語が話せないなか、できるかぎり私たちとの意思疎通を試みてくださりました。またお店の人もしっかりと対応してくださり、「日本人だから」と悪い対応などは一切なく、驚きました。これまで、ニュースで政治面でしか関係

を知らなかったのですが、こういった民間での交換は、とても穏やかであることを実際に感じることができたことは、とても貴重な体験になりました。また独立記念日の日に、学生さんに「この独立記念日に日本に対して思うことはないのですか？」という質問には、「人によって意見は違うだろうけど、私たちにとって独立記念日は自分たちの誇りの記念日で、今更今の日本人にどうこう思ったりはしない」という考えを教えていただきました。このような、韓国の方々の生の声を知ることができたということが、この研修に参加した重要な意味の1つだと思いました。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

- ・貴重品を他の人の目に触れるところに置かない
- ・自分の荷物から目を離さない。
- ・食事が多かったり、味付けがきつめだったりしたときは、自分の体調をよく考え、食べる量を自分で調節する。

#### 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	円	= ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	2,000 円	= ウォン	現金 万円、カード 万円
各自での交通費	1,000 円	= ウォン	
その他（小遣い）	20,000 円	= ウォン	現金 2万円、カード 万円
計	円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 20,000 円 = 190,000 ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすりめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

↓↓

韓国はカラオケの料金が日本のカラオケに比べてとても安いので、多くの学生が利用するからか、歌がとても上手でした。機会があったら聞いてみてください。



# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2019年 3月

所属 & 学年 | 理学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

元々、K-POPや韓国ドラマが好きで、韓国に行ってみたくて思っていました。研修で韓国に行ってみて今までに学んだ韓国語を話したり、行って初めて分かる文化を学んだりしたいと思っていました。また、日韓関係にも興味があったので、韓国で実際に聞いてみたいとも思い、履修することにしました。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

### 学内

韓国の歴史について学んだり、韓国語の基礎や韓国の人の性格について学んだりすることができました。また、みんなの発表で、人名、兵役、葬儀、テレビ局、e-sports、韓服などについて学びました。

### 研修中

ハングルの基本、挨拶、紹介、約束などについて簡単な文章を作って練習したり、とうみさんに発音を丁寧に教えていただいたりしました。また、ハングルの歴史や日韓のことについてを講義で学び、木浦市内や資料館を見ることによって、過去に日本が韓国にしたことについて韓国目線で知ることができました。テンプルステイでは静かな空間で川の水の音と鳥の声だけ聞いて散歩して、心が浄化されたような気持ちになりましたし、韓国のお寺を見て、日本との違いを感じて面白かったです。また、韓国の伝統的な太鼓を体験してみて、日本と同じようなものだと思っていたのが、全然違って、新鮮で面白かったです。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

食事を大切にしている、食事はみんなで食べるものだという考えがありました。また、いつもとうみさん方の心配りを感じて、私ももっと周りに目を配らなければならないと気づきました。また、お店の人でも日本人に対して、優しくしてくれたり、知っている日本語で話したりしてくださる人が多いように感じました。私が日本で外国の人に会っても丁寧に接したいと思いました。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

韓国で薬を買おうとしても韓国語が分からなければどれを買ったら良いのか分からないと感じました。でも、コンビニで薬が買えるのは便利だと思いました。花粉症の薬は処方してもらわなければ買えないようだったので、事前に買っていくべきだと思います。

木浦は基本的に安全でした。でも、なくしてしまったときのことを考えて、お金は分けて持つべきだと学びました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	72,100 円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	136,190 円	= ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	7,000 円	= ウォン	現金 万円、カード 万円
各自での交通費	700 円	= ウォン	
その他（小遣い）	10,000 円	= ウォン	現金 万円、カード 万円
計	225,990 円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 30,000 円 = ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい いいえ

↓↓↓



# 全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2019年 3月  
所属&学年 | 理学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

第二言語で韓国語を履修していて、授業で韓国の文化に触れる機会があって韓国の文化に興味をわいたことが始まり。また、k-popを聞いたり、韓国のドラマを見たりしていたので、画面を通して見ている現在の韓国が本当に、画面越しから得られた情報と同じものなのか知りたかったから。また、旅行としてではなく研修を通して韓国に行きたいと思った理由は現地の学生と沢山交流したいと思ったからである。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

実際に韓国に行ったことがある、または住んでいた先生方の話を聞いて、いろいろなことを知ることが出来た。日本と距離が近い国なので日本と似ている点も多いが、異なる点も多いのだと知ることが出来た。また、韓国人のコミュニケーションの取り方や人との距離感などは事前に知れてよかった。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

主に交流できたのが日本語学科の学生であるというのも大きな要因ではあると思われるが、日本で想像していたよりも、日本人に対して好意的である方が多く、心の優しい方が多かった。食事に関して韓国は辛い物が多いイメージがあったが全て辛い物でもなかった。この研修で学んだ事の中で一番私が良かったと思えることがある。それは、現地の学生たちの生活や考えについて少しではあるが知れたことである。なぜなら、留学や研修をしなければこういう情報というのは得られにくいし、約二週間という期間でこのようなことを学べるのは難しいからである。

## 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

パスポート、航空券、現金、カードの取り扱いには注意して肌身離さず持ち歩いた。日本と治安はたいして変わらないほど治安のよい場所であったので、神経質にならないでもよかったかもしれないが、海外ということで貴重品の取り扱いには注意した。



5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	8万円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	12万円	= 120000 ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	4千円	= 40000 ウォン	現金 万円、 カード 万円
各自での交通費	750円	= 7500 ウォン	
その他（小遣い）	10000円	= 150000 ウォン	現金 1万円、 カード 4千円
計	214750円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 30,000円 = 300,000ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

↓↓↓

とても楽しい研修で、いろんな事が学ぶことが出来る研修です。この研修を通して非常に良い人とのつながりができ、研修後も研修先でお世話になった現地の学生さんたちと連絡を取り合ったり、他の履修学生たちとご飯を食べに行く予定を立てたりしています。気軽に海外で学生と交流したい人にとってはとてもお勧めです。

# 全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2019年 3月

所属&学年 | 経済学部 1年生

科目名	アジア現代事情IV
海外研修先	大韓民国：国立木浦大学校
海外での学習期間	2019年2月20日～3月3日

## 1. 履修のきっかけや動機

私はもともと家が韓国系ということもあり、幼いときから韓国文化に多少は触れてきました。しかし、韓国語が話せるわけでもなく、また文化についても人に詳しく話すことが出来るほどではなかったため、1度は実際に韓国に行き自分自身で文化を体験したいと思っていたので、このプログラムを履修しました。また、自分の身の回りに韓国の話を出来る人があまりいなかったため、このプログラムをきっかけに同じことに興味を持つ人とつながれたらとも思っていました。さらに、私は第二言語で韓国語を履修しているのですが、学習に対する意欲が以前ほどはなくなってきた気がしていたため、自分の韓国語の力を現地で実感し韓国語学習へのモチベーションを高めたいと思ったことも動機の一つです。

## 2. 学内（名古屋）での授業・個別指導などで学んだこと、海外の研修中に学んだこと

渡航前の授業では、名大の大学院生である韓国の方に韓国語の基礎的な学習のお手伝いをさせていただいたおかげで、自分の抜けていた知識や、現地で質問したいことを再確認することが出来ました。また、韓国の歴史について韓国ドラマを題材にした講義や、人文学研究科の先生にも講義をさせていただいたことにより、さらに研修への意欲を高めることが出来ました。そして韓国研修だけではなく、一般的な日常生活でも必要なメールの書き方や敬語の使い方、わかりやすいプレゼンテーションについても教えて頂き、とても勉強になりました。

## 3. 学外授業（韓国での研修）および生活で学んだこと

木浦大学での授業は主に韓国語を英語で学習しました。しかし、隣で現地の日本語学科の学生の方が上手すぎる日本語で常にサポートしてくださったので、理解できないということはありませんでした。基礎的なハングルの読み方から最終的には文章を作る練習もしたのですが、特に印象に残っていることは発音です。一応第二言語で韓国語を履修しているので、ハングルを読んだり書いたりすることは出来ているつもりだったのですが、発音はまだまだで現地の学生の方に何度も教えて頂きました。また大学の授業では、韓国の経済、政治、そして文字の歴史についても教えて頂きました。

木浦の市内観察では、現地に住む日本の方に日本と韓国の歴史について、実際の建物や写真を見ながら説明して頂きました。日本では見ることが出来ない植民地時代の写真なども見て、改めていろいろなことを考えさせられました。

生活の面では日本と似ている部分も多くあったのですが、食器は持たない、箸やスプーンは縦に置くなど食事のマナー面では違いもありました。また、実際に自分が食事をし、お店に行く中で、日本との違いや似ている部分を探ることがとても面白かったです。

大学の周辺には飲食店やカフェなどがたくさんあり、学生の文化も体験することが出来ました。この研修では、トウ

ミという日本語学科の学生の方が常にサポートしてくださったのですが、トウミさんがいろんな場所に連れて行ってくださり、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

#### 4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

日本にいるときと同じように貴重品にはいつも気をつけていました。治安は日本と同じような感じだと思います。ただ、私の場合かえって日本と同じように過ごしすぎて、危機管理が甘くなりがちだったので、海外という意識は持つておくべきだと思います。また、ちょうど研修期間中に韓国の独立記念日があったのですが、地方と言うこともあり、特にいつもと変わらず過ごすことが出来ました。

#### 5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考	支払方法
航空運賃&ビザ、海外旅行保険	7万5千円		振込
滞在費（授業料・宿泊費・食費・交通費・通信費）	13万円	=130万ウォン	国立木浦大学校へ支払
各自での食費	5千円	=5万ウォン	現金5千円
各自での交通費	3千円	=3万ウォン	
その他（小遣い）	2万2千円	=22万ウォン	現金2万円
計	23万5千円		

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 3万円=30万ウォン

自由記述欄 \*後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

↓↓↓

写真がありすぎて選びきれないのですが、特に気に入ったものを厳選しました。



←いきなりこんな写真で申し訳ないのですが、木浦に着いて最初に入ったお店のトイレの写真です。トイレットペーパーの位置に衝撃を受け、思わず撮ってしまいました。もちろんこの位置はこのお店のみです。ただ、木浦では基本ペーパーは流さず、横にあるゴミ箱に捨てていました。ソウルなどではまた違ってくると思うのですが、日本の下水道設備は整っていると感じました。



←木浦の市内観察の時の写真です。

町並みが韓国らしく、  
家の壁の至る所に絵が描いてあり、  
とても可愛かったです！！



↑  
テンプルステイも体験しました。  
修練着に着替え、お坊さんと対話をしたり、  
己と向き合うための散歩という名のプチ登山をしたり  
しました。



日本で聞いたことのある韓国料理はほぼ食べたのですが、その中でも特に気に入ったものを紹介します。左は、言うまでもないかもしれませんが、サムギョブサルです。美味でした。そして右はチキンの写真なのですが、その上にアイスがのっけていて、チキン、アイス、そしてサラダの3点セットで食べます。私も最初は、ああ、そういう系ねと思っていたのですが、気がつけばフォークを持つ手を止められませんでした。ぜひ、食べてみてください！



そして韓国はカフェの数がとても多く、ふらっと入ったカフェがどこも可愛いので焦りました。

そして最後は一緒に行った日本のメンバーとトウミの方々と写真です。  
この方たちがいてくれたおかげで、何十倍も楽しく幸せな時間を過ごせました。



最後に

厳選したといったのに、とても多くなってしまいすみません。

今これを見てくださっている方は、留学に興味がある、あるいはプログラムへの参加を検討している方だと思います。私も最初、他の予定が重なり参加するか本当に迷いました。しかし、多少無理はしましたが、参加して本当に良かったと思います。これは海外に研修や留学に行った人なら必ず言うと思うのですが、迷っているのなら絶対に行くべきです！（この研修に限らず）

限られた学生生活の中で、このような経験はなかなか出来ません。きっと、人生において貴重な体験になると思います。そして、どの研修にしようか迷っている方にはこの韓国の研修を全力でおすすめします！予算的にも1番参加しやすいのはもちろん、内容も充実していて（韓国の伝統文化を体験したり、韓国の歴史を学んだり、韓国の学生の生活をリアルに感じる事が出来たりと……このような体験は旅行では決して出来ません！）そして何より現地の学生や先生方、そして人が本当に温かく優しいです。最高の思い出が待っています。ぜひ検討してみてください。最後まで読んで頂き、ありがとうございました。